

## 国立大学法人島根大学役員会（第355回）＜議事要録＞

日時	令和2年9月8日（火） 14:00 ～ 15:25
場所	本部棟3階 特別会議室（TEAMS 利用）
出席者	服部学長，藤田理事，秋重理事，荒瀬理事，井川理事，長澤理事，宮脇理事，上野理事
オブザーバー	千家監事，栗原監事
欠席者	なし
	〔陪席：企画部長，教育・学生支援部長，総務部長，財務部長，医学部事務部長，自然科学系事務部長，教育企画課長，学生支援課長，総務課長，財務課長，医学部総務課長，監査室長〕

冒頭、学長から9月1日付で再任された千家監事及び同日付で新たに就任された栗原監事の紹介があり、両監事から挨拶があった。

続いて学長から前回役員会において、議題3「大学による地方創生人材教育プログラム構築事業」の申請については取り下げとし、後日臨時役員会を開催し、改めて審議することとしていたが、当該事業への申請自体を行わないこととしたとの報告があった。

### 議題1 島根大学全学共通教育管理委員会規則の一部改正について

- 荒瀬理事から島根大学全学共通教育管理委員会規則の一部改正について説明があった。
- 学長から全学共通教育管理委員会規則では、審議事項として全学共通教育に係る基本方針・カリキュラム・実施・運営・管理体制に関することが規定されているが、全学に共通する教育については教育研究評議会の審議事項でもあるため、全学共通教育管理委員会で審議した事項は教育研究評議会に付議するよう意見があった。
- 荒瀬理事から今後は全学共通教育管理委員会の開催頻度を高め、全学共通教育の改革を実行していくとの回答があり、原案どおり議決された。

### 議題2 国立大学法人島根大学支援基金規則の一部改正について

- 藤田理事から国立大学法人島根大学支援基金規則の一部改正について説明があった。
- 千家監事からみなし譲渡所得税の非課税措置に係る特例については、このような制度があるという宣伝をしないと体制を整えても実質的に寄附の増加につながらないため、適切な広報が必要であるとの意見があった。藤田理事から工夫したいとの回答があった。
- 千家監事から TR, RA 条項の削除について、総合科学技術・イノベーション会議（CSTI）では、大学院生を雇用することで経済的支援をすることが検討されているため、本学においても同様の検討をしてはどうかとの意見があった。藤田理事から当面は支援基金を増やすことに専念するが、見通しがもてるようになったら、検討していきたいとの回答があった。学長から RA の雇用については、支援基金以外の経費でも可能なため、制度を検討していく必要があるとの意見があり、原案どおり議決された。

### 協議事項1 定期モニタリングの実施について（学生のメンタルヘルスサポート体制）

- 荒瀬理事から「学生のメンタルヘルスサポート体制」についての内部統制報告書の説明があった。
- 宮脇理事から新型コロナウイルス感染症の流行により、ウェブ面接をする機会が多くなったが、都会の大学生はウェブ面接のトレーニングを受けており、受け答えや所作が上手であるため、今後はウェブ面接のトレーニングなど、今までになかったものを取り

入れていく必要があるのではないかとの意見があった。

- 千家監事から内部統制の課題（２）の「教職員ハンドブック」への教職員のアクセスについては、総務課で検討中ではないかとの意見があり、総務課長から現在教職員向けサイトの分類・階層の見直しを行っているとの回答があった。
- 学長から統制活動の実績（２）で令和元年度に支援を行った学生について、状況の内訳（深刻な状況にある学生の人数等）について質問があり、荒瀬理事から確認するとの回答があった。学長からあわせて学生への支援の効果や新型コロナウイルス感染症流行により、例年と比べ不調を訴える学生が多いのかどうか報告してほしいとの要望があった。

#### **報告事項 1 支援基金令和元年度 監事の監査報告**

- 千家監事から支援基金の令和元年度の監事の監査報告があった。

#### **報告事項 2 令和２年度国立大学法人運営費交付金における成果を中心とする実績状況に基づく配分及び重点支援の評価結果について**

- 長澤理事から令和２年度国立大学法人運営費交付金における成果を中心とする実績状況に基づく配分及び重点支援の評価結果について報告があった。
- 長澤理事から各理事に対し、各指標の算定方法は詳細に示されているため、確認して改善に取り組むよう依頼があり、あわせて今後、令和２年度の現時点での状況を照会するとの説明があった。
- 千家監事から「カリキュラム編成上の工夫の状況」の「シラバスに「準備学修に必要な学修時間の目安」を設定」について、以前のシステムでは欄がなかったが、今のシステムでは対応できるのではないかとの意見があり、荒瀬理事からシステムは対応できているが、記載の状況については確認する必要があるとの回答があった。

#### **報告事項 3 令和元事業年度財務諸表の承認について**

- 長澤理事から令和元事業年度財務諸表の承認について報告があった。

#### **報告事項 4 令和２年度戦略的機能強化推進経費の配分について**

- 長澤理事から令和２年度戦略的機能強化推進経費の配分について報告があった。

#### **報告事項 5 内部統制システムに係るモニタリング結果の業務反映状況について**

- 藤田理事から内部統制システムに係るモニタリング結果の業務反映状況について報告があった。
- 千家監事から今後もフォローアップを継続するため、定期モニタリングの報告書の様式を見直すよう提案しているため、検討するよう意見があった。藤田理事から定期モニタリングが教職員の意識に定着が図れていないため、取り組み方は工夫しながら継続していきたいとの回答があった。

#### **報告事項 6 附属病院運営状況について**

- 井川理事から附属病院運営状況について報告があった。

## 報告事項7 第183回教育研究評議会の議題等について

- 学長から第183回教育研究評議会の議題等について報告があった。

宮脇理事からコロナ禍を悲観せずに、イノベーションのチャンスと捉え、取り組んでほしいとの意見があった。

上野理事からコロナ禍で仕事の進め方が変わってきており、大学も改革の必要があるため、時代にあった対応をするとともに、従来からの島根大学の良い部分を伸ばして行ってほしいとの意見があった。